

2022年9月の主な出来事

中 国	日 中
<p>1 ●台湾の蔡英文総統は、訪台している米西部アリゾナ州のデュシー知事と会談。</p> <p>●上海で世界人工知能（AI）大会が開幕。</p> <p>●中国政府は、データの海外への持ち出しに関する規則「データ海外越境安全評価弁法」を施行。</p> <p>●中国外務省の汪文斌副報道局長は、新疆ウイグル自治区に関する報告書に対して批判した。</p> <p>●台湾国防部（国防省）は、中国福建省の沿岸に位置する台湾の離島・金門島周辺に飛来した所属不明の民生用ドローン（無人機）を、台湾軍が海に撃ち落としたと発表。</p> <p>●四川省成都市で都市封鎖。4日まで。</p>	<p>1 ●中国やインドなど少なくとも13カ国が参加するロシア極東での大規模な軍事演習「ボストーク2022」を7日まで実施。</p> <p>●超党派の議員連盟「日華議員懇談会」は、台湾の蔡英文政権と邦人退避計画の策定へ協議を始めると合意した。</p> <p>●プリンケン米国務長官は、国連機関が中国の新疆ウイグル自治区での「深刻な人権侵害」を認定する報告書を出したことについて、「歓迎する」との声明を出した。</p> <p>●米海兵隊でインド太平洋地域を統括するスティーブン・ラダー中将は、日本経済新聞の取材で、日米による中国抑止に向けて長射程弾が重要だと認識を示した。</p>
<p>2 ●王毅国務委員兼外相は、離任するロシアのアンドレイ・デニソフ駐中国大使と会談。</p> <p>●全国人民代表大会常務委員会は、習近平国家主席の側近として知られる前湖北省トップの応勇氏を最高人民検察院の副検察長にあてる人事を発表。</p>	<p>2 ●米バイデン政権は、台湾に対し約1500億円規模にのぼる武器の売却を承認。</p> <p>●米通商代表部は、トランプ前政権が4年前に始めた中国からの輸入品に課している制裁関税を当面継続すると発表。</p>
<p>3 ●中国の抗日戦争勝利記念日。各地で勝利77年を記念する活動が行われ北京では、戦闘に参加した元兵士ら約200人が出席した記念座談会を開催。</p> <p>●8月の台湾海峡を越えた中国軍機は延べ約300機、昨年1年間の合計の150倍と急増したことがわかった。</p> <p>●深圳市で新型コロナウイルス対策として市内中心部を3日から48時間、事実上封鎖する。</p>	<p>4 ●中国海軍とロシア海軍の艦艇計6隻が、北海道の西側の日本海で3日に機関銃を射撃したことを防衛省が発表。</p>
<p>4 ●全人代は、共産党序列3位の栗戦書・全人代常務委員長が、7～17日の日程でロシア、モンゴル、ネパール、韓国を公式訪問すると発表。</p> <p>●中国国営通信新華社の社長が雑誌への寄稿で習近平共産党総書記の「世界レベルの領袖」としてのイメージを打ち出す方針を表明。</p>	<p>5 ●ロシア政府が極東地域や北極圏への投資促進を呼びかける恒例の国際会議「東方経済フォーラム」が露極東ウラジオストクで開幕。中国共産党序列3位の栗戦書全人代常務委員長が出席、日本は不参加。8日まで。</p> <p>●フィリピンのホセ・マヌエル・ロムアルデス駐米大使は、米軍が台湾をめぐる有事に対応する場合にフィリピンの軍事基地の使用を条件付きで認める考えを示した。</p>
<p>5 ●中国人民銀行は、市中銀行から強制的に預かる外貨の預金準備率を引き下げると発表。これまで8%だった比率を15日から6%に下げる。</p> <p>●四川省カンゼ・チベット族自治州瀘定県で地震。</p>	<p>●日中国交正常化50周年を記念した中国公共外交協会と中国のインターネットメディア「澎湃新聞」によるイベントが北京市内で開かれ、中国外務省の呉江浩次官補と日本の垂秀夫駐中国大使が参加。</p>
<p>6 ●中国が天然ガスの輸入量を今年は初めて削減させる方針であることが分かった。</p> <p>●ロシア政府系天然ガス企業ガスプロムは、中国へのロシア産ガス輸出の決済をルーブルと人民元に切り替えると発表。</p> <p>●ロシア最大手銀行ズベルバンクは、中国の人民元建ての融資を始めたことを明らかにした。</p>	<p>●岸田首相は、四川省で起きた地震に関し習近平国家主席と李克強首相にお見舞いのメッセージを發出した。</p> <p>●読売新聞が行った世論調査では、中国が日本の安全保障上の脅威だと「思う」は81%に達し、「思わない」は15%にとどまった。</p>
<p>7 ●栗戦書全国人民代表大会常務委員長は、ウラジオストクでプーチン大統領と会談したと人民日報が報じた。</p> <p>●中国税関総署が発表した貿易統計によると、8月の世界全体に対する輸出は前年同月比7・1%増の約45兆円となった。</p> <p>●中国人民銀行は、8月末の外貨準備が約440兆円で、前月末より492億ドル減ったと発表。</p>	<p>6 ●浜田靖一防衛相は、日本経済新聞とのインタビューで台湾有事への備えのため、南西諸島地域に燃料タンクや火薬庫を増設すると表明。</p>
<p>8 ●中国の習近平国家主席とプーチン大統領が15～16日にウズベキスタン・サマルカンドで開かれる上海協力機構首脳会議の場で会談するとロシアのデニソフ駐中国大使が明らかにした。</p> <p>●台湾の蔡英文総統は、米国のステファニー・マーフ</p>	<p>8 ●米国主導の新経済圏構想「インド太平洋経済枠組み（IPEF）」の閣僚会合が米ロサンゼルスで開幕。中国への対抗軸を念頭にした経済枠組みを目指す。9日まで。貿易、サプライチェーン、クリーン経済、公正な経済の4分野で連携を強める。</p> <p>●日印外務・防衛担当閣僚協議を開き、共同声明を発表。共同声明は中露を名指しすることは避けた。</p> <p>●チャールズ・フリント太平洋陸軍司令官が陸上自衛隊奄美駐屯地を視察し、中国の活動に懸念を示したうえで「日米共同の演習で相互運用性を改善することで抑止できる」と語った。</p>

	<p>イー下院議員率いる超党派の議員団と会談。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●台湾の頼清徳副総統は、フランス議員団と会談。 ●中国とインドが対峙してきた印西部カシミール地方の国境地帯で、それぞれの部隊が一部撤収を開始した。 		<ul style="list-style-type: none"> ●国連人権高等弁務官事務所が8月末に公表した中国新疆ウイグル自治区に関する報告書で、多数のウイグル族が今も刑務所に「服役」している疑いが明らかになった。
9	<ul style="list-style-type: none"> ●習近平国家主席は、エリザベス英女王の死去を受け弔電を新国王のチャールズ3世に送った。また、香港の李家超行政長官が「深い哀悼の意を表する」とコメントを発表。 ●習国家主席は、北朝鮮の建国74年に合わせて金正恩朝鮮労働党総書記に祝電を送った。 ●中国共産党が政治局会議を開催。10月に開く第20回党大会で、党規約を改正する方針を決めた。 ●中国国家統計局が発表した2022年8月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比2.5%上昇。伸び率は7月から0.2ポイント縮小した。 ●中国汽車工業協会が発表した8月の新車販売台数は、前年同月比32.1%増の238万3000台だった。3カ月連続で前年を上回った。 ●在ジュネーブ国際機関中国代表部の陳旭大使が、新疆ウイグル自治区についての報告書を発表した国連人権高等弁務官事務所に対し、「協力の道を閉ざした」と批判した。 	9	●岸田首相は、台湾との外遊関係を維持しているパオのウィップス大統領と会談。
		10	●尖閣諸島の国有化を閣議決定して10年。
		11	●日本航空は北、京発成田行き旅客便の運航を2年半ぶりに再開。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾の与党、民進党の立法委員らが安倍元首相への弔問のため自民党本部を訪問。 ●経団連と在日中国大使館は日中国交正常化50周年を前に記念シンポジウムを東京都内で開いた。林外相と中国の王毅國務委員兼外相がビデオメッセージを送った。 ●経団連は、日本周辺で中国などの外国船舶による領海侵入が相次いでいることを踏まえ、政府に海洋安全保障の強化を求める提言をまとめた。 ●日本と中国の学生が自分たちで設定した課題について、日中で協力しての解決策を提案する「日中未来創発ワークショップ」が都内で開かれた。
10	●中秋節の3連休が始まる。	13	●「東アジア国際秩序の来し方行く末サンフランシスコ平和条約から70年」が都内で開かれ日本と台湾の専門家4人が意見を交わした。
13	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾外交部の陳立国欧州局長は、リトアニアによる台湾での代表処設置を巡り「代表処の運営をスタートした」と述べた。 ●中華人民共和国が1949年に成立した直後、ローマ教皇庁の公使が中国共産党政権の早期崩壊を想定していたことが分かった。 ●中秋節期間中の国内旅行者数が前年同期比16.7%元の7340万9千人だった。 	14	<ul style="list-style-type: none"> ●EUは、強制労働で作られた物品を域内市場から排除する規制法案を発表。新疆ウイグル自治区での「深刻な人権侵害」を念頭にした。 ●国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチは、中国新疆ウイグル自治区で司法当局が「テロ対策」を名目にウイグル族など50万人超の少数民族を不当に逮捕、起訴し、刑務所に収容しているとする報告書を公表した。 ●IEAは9月の石油市場リポートで、2022年の世界の石油需要見通しを小幅に下方修正。中国の22年の需要は日量36万バレル下方修正し同1501万バレルとみる。 ●日米韓と台湾が半導体の供給網強化に向けた新たな政策協調の枠組みを検討していることが分かった。 ●防衛省が中国海軍のルーヤン2級ミサイル駆逐艦2隻が沖縄本島と宮古島の間を北西に進み、東シナ海に入ったと発表。 ●日米防衛相会談が行われ、中国が弾道ミサイルを発射したことについて非難した。 ●公正取引委員会は、VISAやマスターカード、中国銀聯のクレジットカードの国際ブランド3社が11月末をめどにカード会社間の手数料率を公表することを決めたと発表。
14	●習国家主席は、14~16日カザフスタンとウズベキスタンを公式訪問。習氏が外国を訪問するのは2020年の新型コロナウイルス流行後はじめて。		
15	<ul style="list-style-type: none"> ●習国家主席は、上海協力機構の首脳会議に16日まで出席。中央アジア5カ国の首脳らと会談。 ●習国家主席は、プーチン大統領とウズベキスタンで会談。 ●習近平国家主席、ロシアのプーチン大統領、モンゴルのフレルスフ大統領が会談し、モンゴル経由で中ロを結ぶ天然ガスのパイプライン建設計画を推進していくことで合意した。 ●ウズベキスタンのミルジヨエフ大統領が、習近平国家主席に勲章を授与。 ●中国の海軍とロシアが太平洋で合同パトロールを開始したと、ロシア国防省は発表。 ●約3億人がロックダウンによる行動制限。 		
16	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の栗戰書全国人民代表大会常務委員長は、韓国の尹錫悦大統領を表敬訪問した。また、韓国国会の金振杓議長とも会談。 ●中国国家統計局が発表した8月の主な経済統計によると、工業生産は前年同月比4.2%増加。伸び率は7月の3.8%から拡大した。 		
17	●英BBCはエリザベス女王の国葬に関して、英議会が中国政府代表団の弔問を受け入れる方針を明らかにしたと報じた。		
		15	<ul style="list-style-type: none"> ●G7貿易相会合は、中国を念頭に企業が市場に参入する際に当局が技術開示を要求する「強制技術移転」に関する懸念を盛り込んだ共同声明を採択した。 ●財務省が発表した8月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2兆8173億円の赤字。中国向け輸出は同13.5%増の1兆6132億円で、3カ月連続の増加、中国からの輸入は同34.2%増の2兆1901億円となり、4カ月連続で増加した。 ●防衛省は、中国海軍の測量艦1隻が屋久島南側の日

18	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾南東部台東県で、マグニチュード6.8の地震。 ●中国税関総署が発表した8月の貿易統計の速報値によると、北朝鮮から中国への輸出が前月比約44%増の約1878万ドル(約26億8000万円)となった。 ●柳条湖事件から91年。事件が起きた遼寧省瀋陽市にある「九・一八歴史博物館」で記念式典が開かれた。 ●バイデン米大統領が米CBSテレビのインタビューで、中国が台湾を攻撃すれば米軍が防衛すると明言。これに対し中国外務省の毛寧副報道局長が強烈な不満と断固とした反対を表明。 	<p>本の領海に侵入したのを確認したと発表。</p> <p>16 ●日中両国の国交が正常化されて半世紀になるのを記念したイベント「一衣帯水共創未来日中国交正常化50周年記念式典」が練馬で開かれ、孔鉉佑・駐日中国大使と福田康夫元首相が出席した。</p> <p>●神戸市立王子動物園のジャイアントパンダ・タンタンが27歳の誕生日を迎えた。</p>
19	<ul style="list-style-type: none"> ●王岐山国家副主席は、エリザベス女王の国葬に参列。 ●外交担当トップの楊潔篪共産党政治局員は、ロシアのパトルシェフ安全保障会議書記と戦略的安全保障に関する協議を行い、合同演習やパトロールといった軍事協力を進める意向で一致した。 ●王毅国務委員兼外相は、フランスのコロナ外相と会談。 	<p>17 ●日中国交正常化50周年を記念した交流フォーラムがオンラインで開催。中国の元文化次官、劉徳有氏は書面メッセージを寄せた。</p> <p>●日本と中国、韓国と東南アジア諸国連合(ASEAN)の経済相会合がカンボジアで開催。</p> <p>●17、18日「TAIWAN PLUS 2022 台湾吉日」が上野公園で開催。</p>
20	<ul style="list-style-type: none"> ●王毅国務委員兼外相は、クレバリー英外相と会談。 ●中国人民銀行は、事実上の政策金利と位置付けるローンプライムレートの1年物を3.65%のまま据え置くと発表。 ●中国税関総署が公表した8月の貿易データによると、ロシアからの液化天然ガス輸入額は前年同月比で約2.7倍の約1000億円に上った。 ●中国共産党機関紙・人民日報は、党幹部の年齢にとらわれない引退や降格のルールを定めた通知文書を党が配布したと伝えた。 	<p>18 ●政府は、台湾有事に備え自衛隊の火薬の生産工場を建設する。</p> <p>20 ●日米英豪とニュージーランドの5か国が、太平洋諸島の支援に向けて設立した枠組みを拡大する方針であることが分かった。</p> <p>●岸田首相は、国連総会で一般討論演説。法の支配の強化が重要だと強調。</p> <p>●岸田首相は、英国のトラス首相と会談。中国やロシアなどの権威主義体制による経済や安全保障の脅威に対処するため、志を同じくする民主主義国が協力する重要性も確認。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> ●騰訊控股の音楽配信子会社、テンセント・ミュージック・エンターテインメント・グループは香港取引所に上場。 ●アジア開発銀行(ADB)は2022年の中国の経済成長率見通しが3.3%と、日本など一部先進国と中国を除くアジア各国の成長率見通し(5.3%)を30年以上ぶりに下回りそうだと発表した。 ●王毅国務委員兼外相がニューヨークで米経済団体と会談。 ●台湾の呉外交部長がチェコ科学アカデミー元総裁のイジードラホシュ上院議員一行と会談し、ドラホシュ氏らの訪台に謝意を表明。 ●王毅国務委員兼外相がロシアのラブロフ外相と会談。 ●米国のバイデン大統領は国連総会の一般討論演説や「中国は前例のない核兵器の増強を、透明性がないまま行っている」と述べ、中国が急速に核戦力の増強を図っていることに懸念を示した。 ●北京で国防・軍隊改革セミナーを開催。習氏も参加。 	<p>21 ●岸田首相は、米ニューヨークで、核実験全面禁止条約(CTBT)の早期発効を目指す首脳級会合を初開催し、米国や中国など8カ国に早期批准を求める共同声明を採択した。</p> <p>●浜田防衛相は、沖縄県・与那国島を訪れ中国軍の艦艇や航空機などの動きをレーダーで監視している陸上自衛隊部隊を視察した。</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾の中央銀行は政策金利を0.125%引き上げ、年1.625%にすると決定。 ●米上院情報特別委員会のメンバーは中国半導体メーカーの長江存儲科技(YMTC)と米アップルとの潜在的な取引が国家安全保障にもたらす脅威を分析するよう米情報機関トップに要請したと明らかにした。 ●台湾の蔡英文総統は台北を訪れたチェコのドラホシュ上院議員と会談し、台湾とチェコが共有する「民主主義と自由の価値観」を守っていくことを確認し 	<p>22 ●経団連の十倉会長や日中経済協会の宗岡会長ら日本の経済界首脳らが、中国の李克強首相とオンライン形式で会談し、貿易や投資の促進などで経済関係を深めていく方針で一致した。</p> <p>●日中国交正常化50周年の特別展示が外務省外交史料館で開始。</p> <p>23 ●日米豪印の協力枠組み「クアッド」の外相会合が開催。</p> <p>24 ●在中国の日系企業と中国公共外交協会が共催する日中国交正常化50周年記念イベントが北京市ショッピングモールで開かれ、垂秀夫駐中国大使、中日友好協会常務副会長の程永華前駐日大使が出席した。</p> <p>●台湾高雄市にある「紅毛港保安堂」に安倍元首相の銅像が建てられた。</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾の中央銀行は政策金利を0.125%引き上げ、年1.625%にすると決定。 ●米上院情報特別委員会のメンバーは中国半導体メーカーの長江存儲科技(YMTC)と米アップルとの潜在的な取引が国家安全保障にもたらす脅威を分析するよう米情報機関トップに要請したと明らかにした。 ●台湾の蔡英文総統は台北を訪れたチェコのドラホシュ上院議員と会談し、台湾とチェコが共有する「民主主義と自由の価値観」を守っていくことを確認し 	<p>25 ●台湾の呉外交部長は、安倍元首相への追悼文を産経新聞に寄稿。</p> <p>26 ●世界銀行は、途上国に関する経済見通しで、中国の今年の成長率に関し4月時点の予想を大幅に下方修正し2.8%とした。</p> <p>●世界銀行は、東アジア・太平洋地域の新興国の経済見通しを発表し、2022年の中国の実質成長率は2.8%で、4月の前回予測で示した5.0%から大幅に下方修正した。</p> <p>27 ●安倍元首相の国葬に中国からは全国政治協商会議副主席の万鋼氏、孔鉉佑駐日大使、台湾からは台湾日</p>

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取賄罪などに問われていた前司法相に対し執行猶予付きの死刑判決が言い渡された。 ●王毅國務委員兼外相がウクライナのクレバ外相と会談。 		<p>本関係協会の蘇嘉全会長、王金平・元立法院長、駐日大使に相当する謝長廷・台北駐日経済文化代表処代表も出席。また、献花の際に国名や国際機関名などを読み上げる「指名献花」に台湾を加え、中国は反発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正常化に尽力した周恩来首相の足跡を振り返る「桜よ海棠よ 永遠に 周恩来と日中友好写真展」が港区の中国文化センターで開催。30日まで。 ●朝日新聞が国内を対象にした調査で、日本と中国の関係が「うまくいっている」との回答は11%にとどまり、「そうは思わない」は83%を占めた。 ●防衛省は中国海軍とロシア海軍の計7隻が9月上旬から1カ月ほどかけて日本列島を半周したと発表。 ●イタリアのメロニー党首は、台湾の中央通信社のインタビューで台湾指示を名言。 ●日本工作機械工業会が発表した8月の工作機械受注額(確報値)は、中国向けが前年同月比24.9%増の298億円。2カ月ぶりに前年比でプラスとなった。
23	<ul style="list-style-type: none"> ●王毅國務委員兼外相が米国のプリンケン國務長官と会談。 		
24	<ul style="list-style-type: none"> ●王毅國務委員兼外相は国連総会で演説し、ウクライナ問題に対し対話による解決を優先するよう改めて求めた。 ●マカオ政府は、10月末か11月初旬に中国本土からの団体旅行客の受け入れを再開する方針だと発表。 		
25	<ul style="list-style-type: none"> ●中国海事局は、米韓演習の期間を含む25日から10月2日まで半島西側の黄海で軍事訓練をするとして航行禁止区域を設定している。 		
26	<ul style="list-style-type: none"> ●中国人民銀行(中央銀行)は、人民元取引の基準値を2年3カ月ぶりの安値となる1ドル=7.0298元に設定。 ●中国遼寧省丹東と北朝鮮新義州を結ぶ貨物列車の運行は、約5カ月ぶりに再開。 ●香港で外国からの入国者に義務化していた指定ホテルでの隔離措置が撤廃。 	28	<ul style="list-style-type: none"> ●太平洋島嶼国首脳会議29日まで。 ●松野官房長官は、国葬に参列した中国の全国政治協商会議の万鋼副主席と会談。
27	<ul style="list-style-type: none"> ●広東省発展改革委員会は2025年までに燃料電池車を1万台普及させるとの目標を発表。 	29	<ul style="list-style-type: none"> ●日中国交正常化50年を迎え、岸田首相は習近平国家主席、李克強首相と祝電を交換。記念行事には、林外相と孔鉉佑駐日中国大使、政財界や友好団体などから850人が出席した。 ●北京の釣魚台国賓館でも中日友好協会など日中の関係者約200人を招いて記念式典が開催。王毅外相は出席せず。 ●台湾外交部(外務省)の欧江安報道官は会見で、日中国交正常化に伴う日台断交から50年を迎えたことについて、「台湾と日本は基本的な価値観を共有し、相思相愛で交流が密接だ」と述べ、外交関係のない日台関係が安定していることを強調した。 ●日本郵便が日中国交正常化から50年の記念切手を発行。 ●米と太平洋の島嶼国14か国・地域はワシントンで初めての首脳会議開催「米国・太平洋パートナーシップ宣言」を採択。地域で影響力を増す中国に対抗する。 ●防衛省は中国とロシア軍の艦艇計7隻が大隅海峡を通過し、東シナ海で隊列を組んで航行したと発表。 ●りそな銀行は中国の現地法人企業に対して同行初の人民元建てによる現地融資を実施。
28	<ul style="list-style-type: none"> ●人民元が対ドル下落。14年8カ月ぶり安値。 ●中国人民銀行(中央銀行)は、設備投資を促すため低利の資金枠を設けると発表。 ●香港紙・明報は、新型コロナウイルスの新規感染者が確認され封鎖措置が取られた中国広東省深セン市福田区の一部地区で、1000人以上の住民が解除を求めて抗議活動を行ったと報じた。 	30	<ul style="list-style-type: none"> ●安全保障理事会は、ウクライナをめぐる緊急会合を開催。プーチン大統領がウクライナ東・南部4州の併合を宣言したことを非難する決議案がロシアの拒否権行使により否決。米英を含む10カ国が賛成票を投じ、中国やインドなどは棄権。 ●バングラデシュは、貿易の決済通貨として中国の人民元の利用を増やす方針。 ●在日中国大使館は日中国交正常化から50周年を迎えたのに合わせ、日中友好に尽力した人やその子孫らを招いた懇親会を東京都内で開催。 ●8月の工作機械受注額は、中国向けが前年同月比24.9%増の298億円で2カ月ぶりに前年比でプラスとなった。
29	<ul style="list-style-type: none"> ●中国人民銀行(中央銀行)と中国銀行保険監督管理委員会はマンション販売が不振の都市で住宅ローン金利の下限撤廃を容認すると発表。 ●台湾で観光目的の外国人旅行者の受け入れを再開。 		
30	<ul style="list-style-type: none"> ●中国共産党と政府は、北京市の天安門広場で革命や抗日戦争などの英雄を追悼する「烈士記念日」の式典を実施。習近平国家主席ら最高指導部の政治局常務委員7人全員と王岐山国家副主席が出席。 ●中国国家統計局が発表した2022年9月の製造業購買担当者景気指数(PMI)は50.1。8月より0.7ポイント改善し、好調・不調の境目である50を3カ月ぶりに上回った。 ●中国国営の新華社は国産旅客機「C919」が同国の航空当局から安全性証明を取得したと報じた。 		